

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月8日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和
 半期報告書提出予定日 2024年11月11日
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	176,539	8.2	10,532	15.5	11,166	14.3	9,088	13.0
2024年3月期中間期	163,172	0.7	12,464	36.5	13,032	34.7	8,043	26.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 22,483百万円 (14.4%) 2024年3月期中間期 26,272百万円 (13.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	46.55	
2024年3月期中間期	40.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	447,811	296,451	54.0
2024年3月期	437,468	280,465	52.3

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 241,748百万円 2024年3月期 228,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				29.00	29.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	362,000	6.7	25,700	15.5	26,300	12.7	17,200	6.3	88.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	197,252,043 株	2024年3月期	197,252,043 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,995,825 株	2024年3月期	1,995,688 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	195,256,313 株	2024年3月期中間期	197,704,122 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(中間期決算説明会内容の入手方法)

当社は2024年11月12日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

○ 第2四半期(中間期)決算短信補足資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の業績は、売上高は176,539百万円(前年同期比8.2%増)、売上総利益は58,745百万円(同5.9%増)、販売費及び一般管理費は48,212百万円(同12.1%増)、営業利益は10,532百万円(同15.5%減)、経常利益は11,166百万円(同14.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産や投資有価証券の売却による特別利益の増加などにより9,088百万円(同13.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、価格改定前の9月の前倒し需要の影響などもあり、焼酎や清酒は減少したものの、ソフトアルコール飲料や本みりんなどが増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は61,980百万円(前年同期比1.3%増)となりました。売上原価は、原材料価格の上昇の影響などにより46,508百万円(同2.9%増)となり、売上総利益は15,471百万円(同3.1%減)となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や広告宣伝費などが増加し12,847百万円(同6.9%増)となり、営業利益は2,623百万円(同33.6%減)となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、ウイスキーが引き続き増加し、清酒なども増加いたしましたので、海外酒類事業の売上高は増加いたしました。海外日本食材卸事業の売上高も、米国や欧州などの個人消費の減速の影響を受けたものの、引き続き新規顧客の獲得や顧客ニーズに即した商品調達などに取り組んだことなどにより増加いたしました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は88,979百万円(前年同期比15.3%増)となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い増加し60,105百万円(同13.9%増)となり、売上総利益は28,874百万円(同18.4%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが増加し22,386百万円(同23.5%増)となり、営業利益は6,488百万円(同3.7%増)となりました。

[タカラバイオグループ]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、受託が減少したものの、試薬、機器、遺伝子医療は増加いたしました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は19,758百万円(前年同期比3.4%増)となりました。売上原価は、相対的に利益率の高い検査関連試薬の減収や売上構成の変化の影響などにより7,313百万円(同26.7%増)となり、売上総利益は12,445百万円(同6.7%減)となりました。販売費及び一般管理費は12,028百万円(同0.8%増)となり、営業利益は417百万円(同70.4%減)となりました。

[その他]

当中間連結会計期間の売上高は、前年同期と比べて、ワイン輸入販売などが増加し15,382百万円(前年同期比3.5%増)となりました。売上原価は13,010百万円(同2.2%増)となり、売上総利益は2,371百万円(同11.0%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが増加し971百万円(同3.0%増)となり、営業利益は1,399百万円(同17.3%増)となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	対前年 増減率
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
焼酎	17,469	16,926	△3.1
清酒	4,252	4,214	△0.9
ソフトアルコール飲料	21,782	23,169	6.4
その他酒類	2,750	2,827	2.8
本みりん	4,546	4,734	4.1
その他調味料	4,447	4,524	1.7
原料用アルコール等	5,941	5,582	△6.0
宝酒造	61,190	61,980	1.3
海外酒類	10,262	11,213	9.3
海外日本食材卸	68,084	79,079	16.1
その他	215	545	153.7
グループ内連結消去	△1,397	△1,858	—
宝酒造インターナショナルグループ	77,164	88,979	15.3
試薬	14,703	15,405	4.8
機器	411	426	3.7
受託	2,702	2,274	△15.9
遺伝子医療	1,298	1,652	27.2
タカラバイオグループ	19,116	19,758	3.4
報告セグメント計	157,471	170,718	8.4
その他	14,866	15,382	3.5
セグメント計	172,338	186,100	8.0
事業セグメントに配分していない 収益及びセグメント間取引消去	△9,165	△9,560	—
合計	163,172	176,539	8.2

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおります。

2. 前連結会計年度までタカラバイオグループの「試薬」に含めていたmRNA製造用関連製品(研究用)等の売上高を、当中間連結会計期間より「遺伝子医療」に加えております。本表の前中間連結会計期間の実績は、当該変更を反映して組み替えております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における流動資産は253,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,103百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2,477百万円、商品及び製品が5,919百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は194,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,239百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が、建物及び構築物や建設仮勘定の増加などにより5,048百万円、無形固定資産が1,401百万円それぞれ増加し、投資その他の資産が投資有価証券の減少などにより4,210百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は447,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,343百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間末における流動負債は78,081百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,575百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が5,000百万円、未払酒税が1,602百万円、未払費用が3,308百万円それぞれ減少し、コマーシャル・ペーパーが8,000百万円増加したことによるものであります。固定負債は73,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,067百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が4,916百万円減少し、固定負債のその他が1,898百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は151,359百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,643百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間末における純資産合計は296,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,986百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が3,425百万円、為替換算調整勘定が14,984百万円、非支配株主持分が2,903百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が5,486百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.0%(前連結会計年度末は52.3%)となりました。

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益13,718百万円、減価償却費4,997百万円、棚卸資産の増加1,339百万円、その他の流動資産の増加1,913百万円、仕入債務の減少1,494百万円、未払酒税の減少1,603百万円、その他の流動負債の減少3,499百万円、法人税等の支払額2,322百万円などにより6,207百万円の収入と、前年同期に比べ8,714百万円の収入減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出5,838百万円、投資有価証券の売却による収入2,790百万円などにより2,313百万円の支出と、前年同期に比べ13,483百万円の支出減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出5,163百万円、社債の償還による支出5,000百万円、配当金の支払額5,654百万円、コマーシャル・ペーパーの発行による収入8,000百万円などにより9,136百万円の支出と、前年同期に比べ575百万円の支出減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より255百万円減少し89,929百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,085	95,078
受取手形及び売掛金	70,123	72,601
商品及び製品	61,834	67,754
仕掛品	1,659	2,015
原材料及び貯蔵品	7,558	7,947
その他	9,768	8,743
貸倒引当金	△817	△823
流動資産合計	245,213	253,317
固定資産		
有形固定資産	104,882	109,930
無形固定資産		
のれん	12,154	12,922
その他	6,181	6,814
無形固定資産合計	18,336	19,737
投資その他の資産		
投資有価証券	43,597	34,848
その他	25,502	30,040
貸倒引当金	△62	△62
投資その他の資産合計	69,036	64,826
固定資産合計	192,254	194,494
資産合計	437,468	447,811
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,315	22,160
短期借入金	10,008	9,878
1年内償還予定の社債	5,000	—
コマーシャル・ペーパー	—	8,000
未払酒税	8,174	6,572
未払費用	8,826	5,517
未払法人税等	2,600	3,300
引当金	3,950	3,581
その他	19,782	19,071
流動負債合計	80,657	78,081
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	10,422	5,506
退職給付に係る負債	8,735	8,686
その他	42,187	44,085
固定負債合計	76,345	73,278
負債合計	157,003	151,359

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,716	2,804
利益剰余金	169,909	173,335
自己株式	△2,103	△2,103
株主資本合計	183,749	187,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,511	17,024
繰延ヘッジ損益	3	△3
為替換算調整勘定	22,389	37,374
退職給付に係る調整累計額	12	89
その他の包括利益累計額合計	44,915	54,485
非支配株主持分	51,799	54,702
純資産合計	280,465	296,451
負債純資産合計	437,468	447,811

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	163,172	176,539
売上原価	107,713	117,794
売上総利益	55,459	58,745
販売費及び一般管理費	42,995	48,212
営業利益	12,464	10,532
営業外収益		
受取利息	153	408
受取配当金	496	492
その他	397	406
営業外収益合計	1,048	1,306
営業外費用		
支払利息	184	311
訴訟損失引当金繰入額	109	—
その他	185	361
営業外費用合計	480	672
経常利益	13,032	11,166
特別利益		
固定資産売却益	28	814
投資有価証券売却益	8	1,973
その他	—	19
特別利益合計	36	2,808
特別損失		
固定資産除売却損	84	121
減損損失	—	108
その他	—	26
特別損失合計	84	256
税金等調整前中間純利益	12,984	13,718
法人税、住民税及び事業税	4,290	4,688
法人税等調整額	△337	△671
法人税等合計	3,953	4,016
中間純利益	9,031	9,702
非支配株主に帰属する中間純利益	988	613
親会社株主に帰属する中間純利益	8,043	9,088

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	9,031	9,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,688	△5,486
繰延ヘッジ損益	3	△6
為替換算調整勘定	12,436	18,182
退職給付に係る調整額	111	91
その他の包括利益合計	17,240	12,781
中間包括利益	26,272	22,483
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	23,250	18,658
非支配株主に係る中間包括利益	3,022	3,825

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	12,984	13,718
減価償却費	4,796	4,997
減損損失	—	108
のれん償却額	544	696
引当金の増減額(△は減少)	△231	△522
受取利息及び受取配当金	△650	△900
支払利息	184	311
固定資産除売却損益(△は益)	56	△693
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	△1,973
売上債権の増減額(△は増加)	941	477
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,663	△1,339
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△796	△1,913
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,181	△1,494
未払酒税の増減額(△は減少)	3,458	△1,603
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,639	1,594
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,453	△3,499
その他	103	△20
小計	17,771	7,944
利息及び配当金の受取額	683	950
利息の支払額	△213	△364
法人税等の支払額	△3,319	△2,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,922	6,207
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,696	△3,433
定期預金の払戻による収入	2,596	3,736
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,540	△5,838
有形及び無形固定資産の売却による収入	34	747
投資有価証券の売却による収入	31	2,790
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,160	—
その他	△63	△316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,796	△2,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40	△5,163
社債の償還による支出	—	△5,000
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	—	8,000
配当金の支払額	△7,497	△5,654
非支配株主への配当金の支払額	△1,999	△813
リース債務の返済による支出	△492	△591
その他	318	86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,711	△9,136
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,246	4,986
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,339	△255
現金及び現金同等物の期首残高	91,785	90,184
現金及び現金同等物の中間期末残高	84,446	89,929

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	60,704	76,881	19,116	156,702	6,470	163,172	—	163,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	486	282	0	768	8,396	9,165	△9,165	—
計	61,190	77,164	19,116	157,471	14,866	172,338	△9,165	163,172
セグメント利益	3,952	6,256	1,410	11,619	1,193	12,812	△348	12,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送事業、ワイン輸入販売、不動産賃貸事業などであります。

2. セグメント利益の調整額△348百万円は、セグメント間取引消去△5百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△343百万円であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,475	88,752	19,757	169,985	6,554	176,539	—	176,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	504	227	0	732	8,827	9,560	△9,560	—
計	61,980	88,979	19,758	170,718	15,382	186,100	△9,560	176,539
セグメント利益	2,623	6,488	417	9,528	1,399	10,928	△395	10,532

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送事業、ワイン輸入販売、不動産賃貸事業などがあります。

2. セグメント利益の調整額△395百万円は、セグメント間取引消去9百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△404百万円であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、減損損失108百万円を計上しております。